



原稿なしで自信を持って答弁したのに、直されました。

3月7日、開催中の岡山市議会本会議において、操車場跡地構想の変更と、岡山駅前へのイオン進出により表町が厳しい状態になることから、市民会館の移転先を後楽館中高跡地から千日前へ変更を求める個人質問がありました。

一連の質問に対する高谷茂男岡山市長答弁

全くその通りですね。だからこれから、いやいや本当に私は正論だったと思います。

これは本当に、将来に岡山市が禍根を残さないように真剣に、もう一度考え直さないといけないところは考え直しますから、別にこれからでもやれますからね。みなさんといっしょに考えてやっていきたいと思っています。

いつもなら原稿を読むだけの市長ですが、このときには原稿なしで自分の言葉で力強く答弁しました。

この答弁により、操車場跡地構想、市民会館移転先を「考え直すのか」と、議場は一時騒然となりました。

異例の答弁調整

この市長答弁で質問は終わり、他議員の個人質問が始まりました。ところが、その質問の途中で休憩となり、休憩中に異例の答弁調整が始まりました。

2時間半の休憩ののち、議会運営委員会が開かれ、答弁の補足をさせてくれとの市長の発言があり、これを許可することとなりました。

市長補足答弁

本会議の貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。議員のご質問に対する私の答弁について、一言補足させていただきます。政治は夢を語り、岡山市が総合力を発揮できるまちづくりをすべきであるというご意見については、誠にその通りであり、その意味で全くそのとおりと申し上げたものでございます。また、各般の事務事業について、

市議会のご意見をお聞きし、その反映を図りながら市政を進めていくという姿勢において、一緒に考えてやっていきたいと申し上げたものでございます。

また、なお操車場跡地の整備につきましては、都市ビジョンに掲げる都市像のシンボルとして多くの方に愛され、利用される魅力ある空間となるよう整備を進めていくということで、具体化を図って参りたいと考えておりますので、よろしくようお願い申し上げます。ありがとうございました。

といつものように原稿を読みました。先ほど答弁したときの勢いは全くありません。

市当局は、議会の了解を取り、市長の補足答弁で操車場跡地について計画通り進めていくことに答弁を修正したのです。

市民会館の移転先は？

「市民会館の移転先は後楽館中高跡地が絶対ということではない、5000～6000平方メートルの広さと合併推進債が使えることが条件だ。」という市民局長答弁がありました。市長の答弁は、この件に関しても変更を容認するものでした。ところが、このことに関しては、補足答弁では触れられていません。

政治家なら発言に責任を持つべきです

最初の答弁を二回目の答弁は補足したと強弁しますが、素直に読めば最初の答弁を否定した答弁だと読むのが自然です。市長のリーダーシップは、いつ発揮されるのでしょうか。

この内容については、山陽新聞(3月8日付)にも掲載されました。岡山市議会インターネット中継でも録画を見ることができます。ぜひご覧いただき、皆さんの意見をお聞かせ下さい。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ 3月19日(火) まちづくり～おしゃべりネット♪
10:00～ 下市このみ事務所
 - ▼ 3月21日(木) 2月定例岡山市議会最終日
 - ▼ 4月 2日(火) げんげの会「お花見会」
11:00～ 里山センター
- ☆参加希望の方は3/28までに事務所までご連絡下さい。参加費は1000円(お弁当、お茶代)です。